

贈呈式を終え、朝日新聞大阪本社の渡辺雅隆編集局長らと記念写真に収まる、広島県尾道市立原田中学校のナチュラル・リサイクル・コーポレーション（NRC）と関係者のみなさん



朝日新聞

特別号外

発行責任者
朝日新聞大阪本社
制作協力
朝日新聞大阪本社
出前朝日事務局
電話 06-6201-8700

尾道市立原田中学 模擬会社（NRC）が受賞

…ナチュラル
…リサイクル
…コーポレーション

腐葉土の製造・販売を通じて地域との連携深める

第12回朝日のびのび教育賞

NRCは2005年に設立。出資者は地元の人たちで1株100円。企画開発、生産、営業販売、財務の4課からなり、生産課には全社員が所属。腐葉土販売のほかに、腐葉土で育てた葉ボタを持って地域のお年寄りを訪ねるなどの活動を続けている。贈呈式後に株主総会があり、次期役員を承認した。



あいさつをする社長の古藤文乃（ことう・あやの）さん（3年）

尾道市立原田中学校（吉田弘司校長）の全校生徒12人でつくる模擬会社「ナチュラル・リサイクル・コーポレーション（NRC）」が、地域と連携した優れた教育活動を表彰する「第12回朝日のびのび教育賞」を受賞し、同中学校で16日、贈呈式があった。会社の仕組みにすることで自立する心を養うとともに、伝統の腐葉土づくりや販売を通じて、原田幼稚園や原田小学校、地域の人々と一体となって社会貢献活動をしていることが高く評価された。

式では、企画開発課長の清水光司君（3年）と営業販売課長の新良貴華江さん（同）が、正賞の盾と副賞30万円を朝日新聞大阪本社の渡辺雅隆編集局長から受け取った。ベルマーク教育助成財団からの副賞20万円は財務課長の内海望実さん（同）に手渡された。会社を代表して、社長の古藤文乃さん（同）が「社是である利潤追求、自己実現、社会貢献を目標に先輩たちの活動を引き継ぎ、よりよいものにしよ」と社員全員で努力してきた」とあいさつした。



商店街で開かれた街頭販売でNRCがつくった腐葉土の良さをアピールする原田中の生徒＝尾道市土堂1丁目



①一年半寝かせた「蔵」から、腐葉土を運び出す原田中の生徒



②腐葉土の手もみ作業では、原田小学校の児童や原田幼稚園の園児も手伝った＝いずれも昨年9月22日